タケミツ音楽で自由に遊ぶ音楽家たち ――ついに東京で！

ついに東京での公演が実現する。最初の公演は2008年2月、米国ケネディ・センターで開催された「日本」がテーマの音楽祭で。この音楽祭のプロデューサーから連絡をもらい“タケミツの映画音楽を紹介したい。ただし日本から呼べるミュージシャンは４人くらい”と言われた。アコーディオン、パーカッション、ギター×２の４人というのは編成としてどうなのか、なんてことは深く考えず、私は即この４人に連絡をした。彼らが父の敬愛する音楽家だったから、そして父の音楽で自由に遊んでくれそうだったから。何より彼らの素晴らしさをワシントンＤＣの人々に知ってほしかったから。４人とも快諾してくれて、それから何度かプログラム選びのミーティング、編曲の割り当て、そして香津美さん宅でのリハーサルを経て、ワシントンＤＣでの本番。タケミツのことも４人のアーティストのことも殆ど知らなかった聴衆が、コンサートが進むにつれ、手拍子を打ったり、身体でリズムをとったり、歓声を上げたり。 最後には全員がスタンディング・オベーション。遠い異国から来た４人の素晴らしい音楽家たちに惜しみない拍手を送っていた。作曲家の肉体は滅びても、その音楽は生き続ける、それどころか新しく生まれ変わることができる、ということを改めて感じた夜だった。それから８年の間に八ヶ岳、松本、ニューヨーク、オレンジカウンティ、北京、上海、神戸で再演が続き、2016年12月、ついに東京での公演が実現する。Don't miss it!!!

武満 眞樹（音楽プロデューサー）

ヤヒロトモヒロ（パーカッション）
Tomohiro Yahiro, *Percussion*

少年時代をカナリア諸島で過ごした異色の打楽器奏者。山下洋輔、久石譲、さだまさし等の公演やツアーに参加。ウーゴ・ファトルーソ（ピアノ）とのDuo「ドス・オリエンタレス」は2012年ラテン版グラミー賞ラテンジャズ部門6位、グラフィティ賞ジャズ部門最優秀賞獲得。同年、同Duoにてサイトウ・キネン・フェスティバル松本に出演、また南米・欧州ツアーを展開（12-13年）。14年同Duoの2作目「Orienta」もグラフィティ賞ジャズ部門最優秀賞。同年、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンのキッズ・プログラムで講師を務める。日亜混成バンドGAIA CUATRO、The Unforsaken、中村善郎Duo等、多岐に渡り国内外で活躍中。
http://tomohiro-yahiro.com/

from 眞樹 八ヶ岳の音楽堂で初めてヤヒロさんの演奏を聞いたとき、父は「いいな、あんなリズム感があって。それにあんなに楽しそうに演奏に没頭できるなんて！」と、いいな！を連発していました。

鈴木大介（ギター）
Daisuke Suzuki, *Guitar*

作曲家の武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評されて以後、新しい世代の音楽家として常に注目されている。マリア・カナルス国際コンクール第3位、アレッサンドリア市国際ギター・コンクール優勝など数々のコンクールで受賞。斬新なレパートリーと新鮮な解釈によるアルバム制作は高い評価を受け、「カタロニア讃歌～鳥の歌／禁じられた遊び～」は平成17年度芸術祭優秀賞を受賞平成17年度芸術選奨文部科学大臣新人賞、第10回出光音楽賞受賞。洗足学園音楽大学客員教授。横浜生まれ。

from 眞樹 父と大介さんが実は会ったことがないなんて信じられません。二人で飲みながら楽しそうに笑っている姿がはっきりと目に浮かぶのに・・・。

渡辺香津美（ギター）
Kazumi Watanabe, *Guitar*

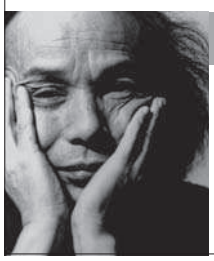
1953年東京の渋谷生まれ。名実ともに日本が世界に誇るトップ・ジャズ・ギタリスト。17歳で衝撃のアルバムデビュー。驚異の天才ギタリスト出現と騒がれて以来45年にわたり、常に最先端インストゥルメンタル・ミュージックを創造し第一線で活躍中。その速いテンポで繰り出される魅惑のアドリブと芳醇な旋律、演奏技術を緻密に組み合わせることで、音の一つ一つに豊かな表現力を含ませ、独自の<カズミサウンド>を創り出すことでも定評がある、まさしくワン・アンド・オンリーの存在。2015-16年「ギター生活45周年」を記念した企画を展開中。
www.kazumiwatanabe.net

from 眞樹 父からの私の２０歳の誕生日プレゼントは香津美さんのアルバム「ＫＹＬＹＮ」でした。ライブにも二人で行きました。

coba（アコーディオン）
coba, *Accordion*

18歳でイタリアに留学。1980年世界アコーディオンコンクールで東洋人として初優勝。以来、欧州各国でのCDリリース、チャート1位獲得など、“coba”の名前と音楽は国境を越え世界の音楽シーンに影響を与え続けている。92年日本レコード大賞特別賞を受賞したファーストアルバム「シチリアの月の下で」から最新作「cobacabada」に至るまで36枚のアルバムを発表。常にアコーディオンの限界に挑戦しながらもハイクオリティなサウンドを追求した作品は、内外に高い評価を得る。作曲家としても、映画、舞台、テレビ、CM音楽をプロデュース、演奏家やオーケストラへの委嘱作品を手掛けるなど作品多数。フィギュアスケートの髙橋大輔や体操の寺本明日香がオリンピックでcobaの楽曲を使用し話題となった。
http://www.coba-net.com

from 眞樹 “すごい奴がいるぞ！”と話していたのはcobaがまだ小林靖宏だった頃。今、cobaの山荘には父が生前使っていたピアノがあります。



武満徹（作曲家） Toru Takemitsu, *Composer*

1930年、東京生まれの国際的作曲家。主に独学で学び、その作品は、オーケストラ曲、ピアノ、電子音楽、映画音楽、舞台音楽、ポップ・ソングなど、多岐にわたる。「タケミツ・トーン」と呼ばれた独特の響きで、世界中の演奏家や芸術家、音楽ファンを魅了した。また、1973年～1992年に行われた現代音楽祭「Music Today」の音楽監督や、1986年に始まった「サントリーホール国際作曲委嘱シリーズ」を監修するなど、常に同時代の音楽に高い関心をもち、多くの優れた作曲家を日本に紹介した。映画音楽では、実験的な作風のものからメロディアスなものまで、100を数える作品に携わり、自身も年間100本の映画を観たこともあるほどの映画好きであった。1996年、65歳で死去。

チケットのお申込み

カジモト・イープラス 検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター（10:00～18:00）もご選択いただけます。
ホームページからもお申込みいただけます（パソコンもケータイも同じアドレス）。

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ　0570-02-9999（Pコード: 299-560）
e+（イープラス）　http://eplus.jp/
CNプレイガイド　0570-08-9990
ローソンチケット　0570-000-407
Bunkamuraチケットセンター 03-3477-9999

twitter @kajimoto_News
facebook
YouTube YouTube
“kajimotomusic” で検索！

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス

一般発売: 6/18（土）10:00～

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。

KAJIMOTO　〒104-0061 東京都中央区銀座６-４-１ 東海堂銀座ビル5階　TEL: 03-3574-0550　http://www.kajimotomusic.com/